

最新刊

2015年12月発行

先生の叫び 学校の悲鳴

[対談×鼎談×座談会] 集



【発行】
エイデル研究所

【四六判・256頁・並製】

小野田 正利 【定価】本体 1,500円 [+税]

近隣住民との環境問題
頭髪指導
いじめ防止対策推進法
教育委員会制度
教師と学級崩壊——

**なまもので生き物の学校の現実から
事実を見つめ展望を語る！**

プロフィール◎

小野田 正利 (おのだ まさとし)

大阪大学大学院教授(人間科学研究科)。専門は教育制度学・学校経営学。モットーは「学校現場に元気と自信を!」。学校と保護者の関係を考える「イチャモン研究会」などの活動を通して、徹底して学校現場に根ざした研究を続けている。全国から依頼殺到の講演は、もはや教育界の「名物」となっている。

目次

第1章 学校の悲鳴

座談会 01 学校・園と近隣住民とのトラブルをどう解決するか
—騒音問題か煩音問題かの見極めが重要—
×A氏×市口 実奈子×渡邊 和也×橋本 典久

座談会 02 カラーリングあふれる時代の学校の頭髪指導
—生徒はなぜ髪を染め、教師はなぜ指導を行うのか—
×青山 直城×石丸 俊枝×木田 哲生
×笑福亭 竹林×仲尾 久美

対談 03 いじめ防止対策推進法と、
学校—子ども—保護者関係の変容
×瀬戸 則夫

対談 04 「教育権」を守る教育委員会制度へ
—教育と教育行政を住民の手に取り戻す—
×坪井 由実

第2章 先生の叫び

鼎談 05 学級崩壊状況の立て直しは新人教師には不可能な業務
—故・木村百合子さん
公務災害認定裁判のもつ意義と重要性—
×木村 和子×小笠原 里夏

対談 06 追い詰められた教師が保護者を訴える時
×宮崎 仁史

座談会 07 地方公務員災害補償基金制度と教職員の働き方
×田村 和男×船越 康成×松丸 正

小野田研究ノート

- 01 「いじめ」記録の取り方が明暗を分ける
～いじめ防止対策推進法下の学校の責務
- 02 先輩教師も保護者と向き合うことに苦労した
～若い先生への手紙
- 03 教師が訴訟せざるを得ない背景
～管理職・教委の不作為と当事者の孤立・恐怖

ご注文は、お近くの書店・販売店へ

エイデル研究所

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-9
TEL.03-3234-4641 FAX.03-3234-4644

注文書	取扱店	注文数	先生の叫び 学校の悲鳴	
		部	本体価格1,500円+税	小野田 正利
		氏名/団体名	ISBN978-4-87168-575-7	
		住所 〒		
	TEL			